

**通所リハビリテーション利用者における
栄養状態と運動機能および生活機能との関係について
医学系研究に対するご協力のお願い**

実施責任者 所属 東京湾岸リハビリテーション病院
職名 理学療法士
氏名 島根颯也
連絡先電話番号 047-451-1700

このたび、当院の通所リハビリテーション（以下、通所リハ）を利用された方の栄養状態と運動機能、生活機能の経過の情報をを用いた下記の医学系研究を当院倫理審査会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、対象の方への新たな負担は一切ありません。また対象の方のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない対象の方は、その旨を「8お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2021年4月1日から2024年3月31日までの間に通所リハを利用し、リハビリテーションを受けた方が対象になります。

2 研究課題名

承認番号 No313

研究課題名 通所リハビリテーション利用者における栄養状態と運動機能および生活機能との関係について

3 研究実施機関

東京湾岸リハビリテーションセンターおよび東京湾岸リハビリテーション病院

4 本研究の意義、目的、方法

高齢者では、疾患や加齢による、身体要因、精神要因、併存疾患、薬剤要因、社会要因によ

って低栄養やサルコペニアになりやすいとされ、低栄養やサルコペニアはフレイルの主な要因となっています。さらにフレイルはリハビリテーションの帰結や身体機能と関係があると報告されています。そのため、リハビリテーションにおいて、栄養状態を把握することが見直されてきており、その重要性は高まっています。しかしながら、生活期リハビリテーションの対象である地域在住高齢者においては、低栄養者が多く、栄養評価を行いリハビリテーションの効果判定をする必要がありますが、栄養状態と身体機能や運動機能、さらには生活機能との関係について十分に検討されておらず、生活期リハビリテーションに関係する報告はほとんどありません。

そのため本研究の意義・目的としては、これらを検討することで通所リハにおいてリハビリテーション介入する際の一助になるものと考えます。

方法は、「5 協力をお願いする内容」に記載している、対象の方に関する個人情報を使用させていただき検討する予定です。

5 協力をお願いする内容

本研究では、通所リハ利用時の栄養状態（CNAQ-J：Council on Nutrition Appetite Questionnaire into Japanese、MNA-SF：Mini Nutritional Assessment-Short Form）、身体機能（身長、体重、BMI：Body Mass Index、握力）、立ち上がり動作（CS-30：30-second chair stand test、FTSST：Five Times sit to stand test）、運動機能（10m歩行テスト（快適速度、最大速度）、TUG：Time Up and Go test）、日常生活動作（BI：Barthel Index、FIM：Functional Independence Measure）、応用的日常生活動作（FAI：Frenchay Activities Index）、生活範囲（LSA：Life-Space Assessment）、その他として基本情報（年齢、性別、要介護度、家族構成、現病歴および既往歴、通所リハの利用開始日、利用回数、介護サービス状況）、科学的介護情報システム（LIFE）の登録データを調査対象としています。そのため、対象の方には、上記の情報を本研究にて使用させていただくことをお願いしています。

6 本研究の実施期間

2024年4月1日～2026年3月31日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う対象の方の個人情報は、年齢、性別、要介護度、家族構成、現病歴および既往歴、通所リハの利用開始日、利用回数、介護サービス状況、また栄養状態（CNAQ-J：Council on Nutrition Appetite Questionnaire into Japanese、MNA-SF：Mini Nutritional Assessment-Short Form）、身体機能（身長、体重、BMI：Body Mass Index、握力）、CS-30（30-second chair stand test）、FTSST（Five Times sit to stand test）、10m歩行テスト、TUG（Time Up and Go test）、当通所リハで定期的実施して

いる質問票（日常生活自立度 FIM : Functional Independence Measure、BI : Barthel Index、応用的日常生活活動能力 : FAI : Frenchay Activities Index、生活範囲の広がり LSA : Life-Space Assessment）、科学的介護情報システム（LIFE）の登録データの情報です。その他の個人情報（氏名、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。

- 2) 本研究で取り扱う対象の方の情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 対象の方の個人情報と、匿名化した上記のすべての情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し破棄します。
- 4) なお連結情報は当通所リハで管理し、他の共同研究機関等には一切公開しません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、本研究で用いる予定の情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

- ・対応者の氏名：島根颯也
- ・所属：東京湾岸リハビリテーション病院
- ・お問い合わせ方法：お電話、FAX
- ・連絡先：TEL 047-451-1700、FAX 047-451-1703
- ・対応可能な時間帯：12:00～12:50、17:00～17:30

*対応者が不在の場合には、お手数ではございますが、改めてのご連絡をいただけますよう、よろしくをお願いいたします。

以上